

分析結果報告書〔 7 〕 1 / 3

3 . 大気試料 (3.1 ベンゼン、3.2 ジクロロメタン、3.3 塩化ビニルモノマー、3.4 1,3-ブタジエン)

機関コード	
機関名	
電話番号	
国際的な認証等の取得 (複数回答可)	1 . ISO 9001 - 9003 2 . ISO 14001 3 . ISO / IEC 17025 (ガイド 25) 4 . M L A P 5 . 環境省が実施するダイオキシン類の請負調査の受注資格
分析担当者名	
分析担当者の経験年数	() 年
分析担当者の実績 (年間の分析試料数)	()

測定回数 注 1)	()
------------	-----

注 1) 分析用試料のはかり取りから G C / M S 等の測定までの一連操作を行った回数 (1 ~ 5 の整数) を記入する。
この測定回数分の分析結果を次の表 < 分析結果 > に記入する。

< 分析結果 >

回数 注 2)	分析項目	分析結果 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$) 注 3)	
		検出下限値以上	検出下限値未満での検出下限値
1 回目	ベンゼン		
	ジクロロメタン		
	塩化ビニルモノマー		
	1,3-ブタジエン		
2 回目	ベンゼン		
	ジクロロメタン		
	塩化ビニルモノマー		
	1,3-ブタジエン		
3 回目	ベンゼン		
	ジクロロメタン		
	塩化ビニルモノマー		
	1,3-ブタジエン		
4 回目	ベンゼン		
	ジクロロメタン		
	塩化ビニルモノマー		
	1,3-ブタジエン		
5 回目	ベンゼン		
	ジクロロメタン		
	塩化ビニルモノマー		
	1,3-ブタジエン		

注 2) 上記で記入した測定回数分の分析結果を記入する。

注 3) 一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。
分析結果 (検出下限値以上) は有効数字 3 桁、検出下限値未満での検出下限値は有効数字 1 桁で記入する。

分析開始月日	月	日
分析終了月日	月	日

分析方法	1 . G C / M S 2 . G C / F I D 3 . その他 ()
分析時の温度	()
分析時の大気圧	() k P a

< 試料の濃縮 >

試料の希釈操作 希釈倍率 (圧希釈の場合) 試料加圧前圧力 試料加圧後圧力	1 . 希釈しない (希釈倍率 = 1) 2 . 圧希釈 3 . その他の希釈 () () 注 4) () k P a 注 4) () k P a 注 4)
試料量 (濃縮量)	() m l 注 5)
濃縮部	1 . 吸着濃縮管 2 . 低温濃縮管 3 . その他 ()
除湿部	1 . あり 2 . なし
濃縮部の加熱温度	()
トラップ管の加熱温度	()
パージガス	1 . 窒素 2 . ヘリウム 3 . その他 ()

注 4) 希釈しない場合には、「希釈倍率」は「1」とする。圧希釈以外の場合には、「圧力」は記入しない。

注 5) 希釈した場合には、希釈した試料量を記入する。

分析結果報告書〔 7 〕 2 / 3

< GC / MS、 F I D > (該当する欄に記入する)

GC	型式	1. GC17シリーズ 2. GC2010シリーズ 3. 5890シリーズ 4. 6890シリーズ 5. TRACE GC 6. その他()
MS	型式	1. Auto Specシリーズ 2. JMS700シリーズ 3. JMS800シリーズ 4. JMS(2.3.以外) 5. MAT95シリーズ 6. SX102 7. 5972シリーズ 8. 5973シリーズ 9. 6890シリーズ 10. QP5000シリーズ 11. QP5050シリーズ 12. QP2010 13. オートマスシリーズ 14. その他()
	装置型式 イオン検出法	1. 単収束 2. 二重収束 3. 四重極 4. イオントラップ 5. その他() 1. SIM法 2. スカニング法 3. その他()
カラム	型式	1. Aquatic 2. BPX5 3. BPX50 4. BPX-DXN 5. CP-Sil88 6. DB1 7. DB5(MS) 8. DB17 9. HP1 10. HP5(MS) 11. HT8 12. HT8(PCB) 13. PTE5 14. RH17 15. SP2331 16. TC5 17. その他()
	内径 長さ 膜厚	() mm () m () μm
昇温条件	初期 1回目の昇温 2回目の昇温 3回目の昇温 4回目の昇温 (5回以上の昇温の場合) 昇温回数	温度()、 温度保持()分 速度() /分到達温度() 温度保持()分 最終温度()、 温度保持()分 回数()回
キャリアーガス条件	種類 流量	1. 窒素 2. ヘリウム 3. その他() ()ml/分
注入	注入口温度 注入方式	() 1. スプリット 2. スプリットレス 3. コールドオンカラム 4. その他()
定量用質量数	ベンゼン ジクロロメタン 塩化ビニルモノマー 1,3-ブタジエン	() () () ()
GC	検出器 メークアップガス 燃料ガス 助燃ガス	種類 流量 種類 流量 種類 流量
		1. FID 2. その他() 1. 窒素 2. ヘリウム 3. その他() ()ml/分 1. 水素 2. その他() ()ml/分 1. 空気 2. その他() ()l/分

< 標準ガス >

標準原ガス	区分 購入：メーカー名	1. 購入 2. 自作 メーカー名：1. 大陽東洋酸素(株) (大陽日酸(株)) 2. 高千穂化学工業(株) 3. 住友精化(株) 4. その他()
-------	----------------	---

< 検出下限 >

項目	検出下限(μg/m ³) 注)
ベンゼン	
ジクロロメタン	
塩化ビニルモノマー	
1,3-ブタジエン	

注) 試料中の濃度(μg/m³)を示す。

分析結果報告書〔 7 〕 3 / 3

< 検量線の作成等 >

項目	区分	記入欄
定量方法	方法 内標準法：内標準物質の種類 内標準法：内標準物質の添加量	1. 絶対検量線法 2. 標準添加法 3. 内標準法 1. トルエン 2. 1,3-ブタジエン 3. クロロベンゼン 4. その他 () () ng (濃縮部中の量)
ベンゼン	検量線	作成点数 () 作成範囲：最小 () ng ~ 最大 () ng 注) 最高濃度の指示値 ()
	試料	指示値 ()
	空試験	指示値 ()
ジクロロメタン	検量線	作成点数 () 作成範囲：最小 () ng ~ 最大 () ng 注) 最高濃度の指示値 ()
	試料	指示値 ()
	空試験	指示値 ()
塩化ビニルモノマー	検量線	作成点数 () 作成範囲：最小 () ng ~ 最大 () ng 注) 最高濃度の指示値 ()
	試料	指示値 ()
	空試験	指示値 ()
1,3-ブタジエン	検量線	作成点数 () 作成範囲：最小 () ng ~ 最大 () ng 注) 最高濃度の指示値 ()
	試料	指示値 ()
	空試験	指示値 ()

注) GCへの注入量 (ng) を示す。

分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点	
--------------------------	--

計算式	
-----	--